

陽炎14型F 取扱説明書

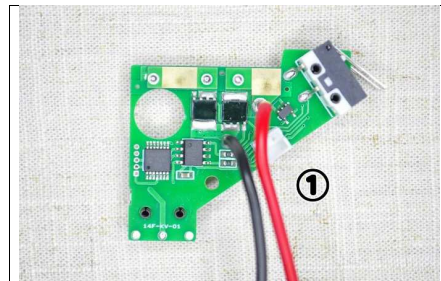
■ はじめに

- 取扱説明書について
本書は弊社製品の陽炎14型Fの組み込みおよび取り扱い説明書になります。
本書中の「本製品」とは「陽炎14型F」のことをいいます。
- バッテリーについて
下記バッテリー以外を使用すると故障する恐れがあります。
リチウムポリマーバッテリー (2セル 7.4V~7.6V / 3セル 11.1V~11.4V)
ニッケル水素バッテリー (8~13セル 8.4V~15.6V)
- ヒューズについて
純正ヒューズ (20A) から付属品のヒューズ (30A) に交換してください。
- モーターについて
○電動ガン用ブラシモーター (使用可能です。)
○電動ガン用プラグインブラシレスモーター (使用可能です。)
×その他のモーター (使用不可)
- SBD (ショットキー・バリア・ダイオード) について
本製品はモーターの逆起電力をブレーキとして使用しているので **SBD は装着しないでください。**
- 本製品を組み込む際の注意について
正常に作動している電動ガンに組み込んでください。
- 本製品を搭載した電動ガンの保管について
バッテリーを繋いだ状態では発砲しなくても回路が電力を消費し続けているので、**電動ガンからバッテリーを外した状態で保管して下さい。**
- セーフティの主電源となるスイッチ部分の直結について
※直結してもセーフティ状態でトリガーがロックされるのでトリガーの誤操作は防止されます。
※直結しなくても本製品は使用可能ですが、セーフティ状態で電源が切れます。
- その他
組み込み、設定方法がわからない場合はご購入店様または弊社までお問い合わせ下さい。

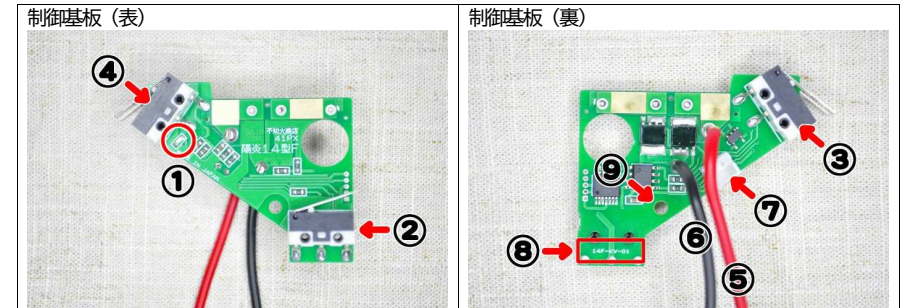
■ 本製品のセット内容

- ① 制御基板
- ② ブレード型ミニヒューズ (30A)
- ③ 説明書等の書類

※ブレード型ミニヒューズは市販のもので代用できます。
※材質や形状が画像と異なっていても性能が変わることはありません。



■ 各部の説明

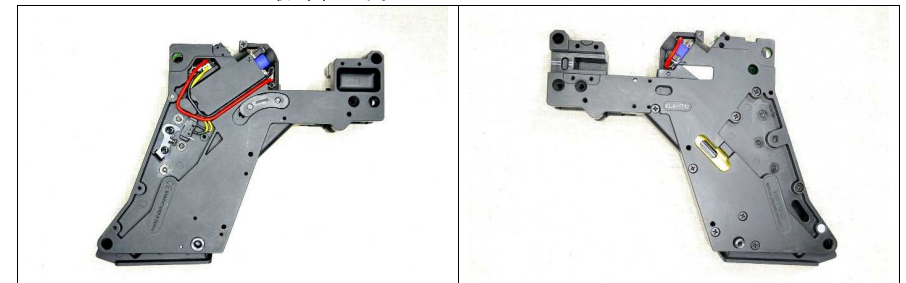


- ① 青色LED
- ② トリガースイッチ
- ③ セレクタースイッチ1
- ④ セレクタースイッチ2
- ⑤ モーターケーブル赤 (モーター [+] へ接続)
- ⑥ モーターケーブル黒 (モーター [-] へ接続)
- ⑦ カットオフソケット
- ⑧ 基板番号
- ⑨ 基板固定ネジ穴

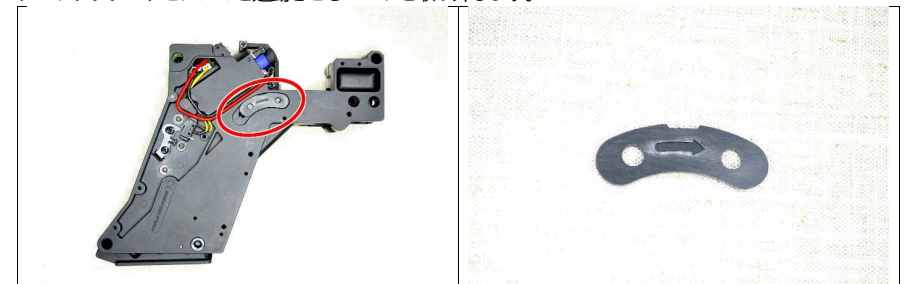
※基板形状、電子部品、基板パターンなどが画像と異なっていても性能が変わることはありません。

■ メカボックスの取り出し

- ① レシーバーからメカボックスを取り出します。

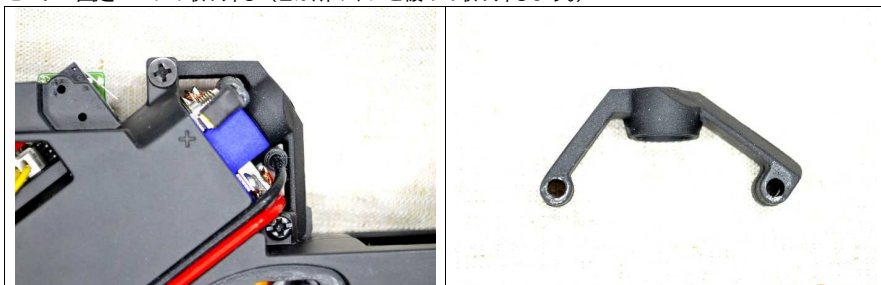


- ② タバットプレートとノズルを連動させるパーツを取り外します。



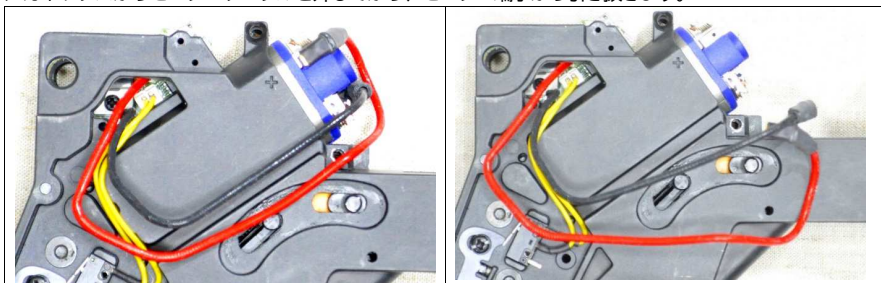
■ 純正基板の取り外し

- ① モーター固定パーツの取り外し（2か所のネジを緩めて取り外します。）

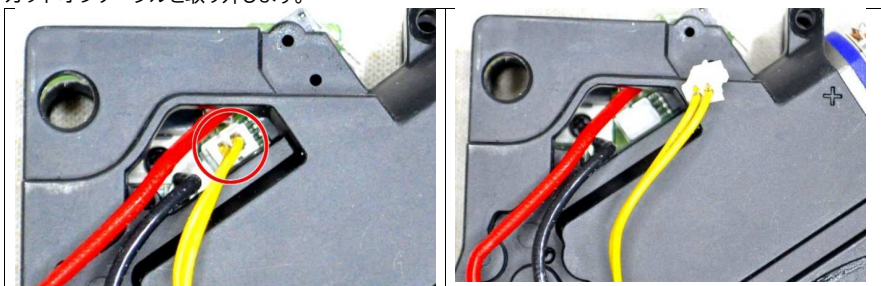


- ② モーターケーブルの取り外し

メカボックスからモーターケーブルを外してから、モーター端子から引き抜きます。



- ③ カットオフケーブルを取り外します。



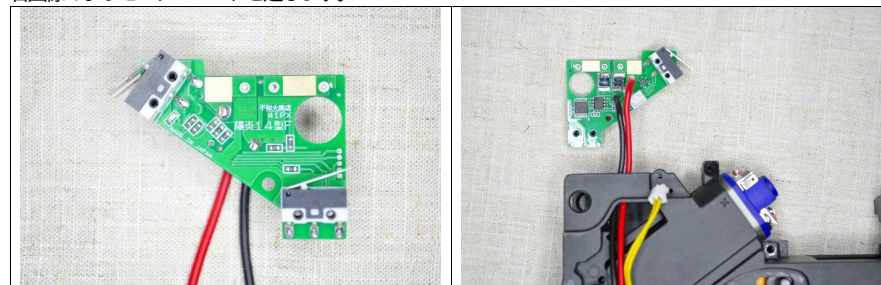
- ④ 基板固定ネジを緩めて純正基板を取り外します。

太さ4mmのプラスの1番ドライバーを使用します。(番号はドライバーサイズです。)



■ 本製品の取り付け

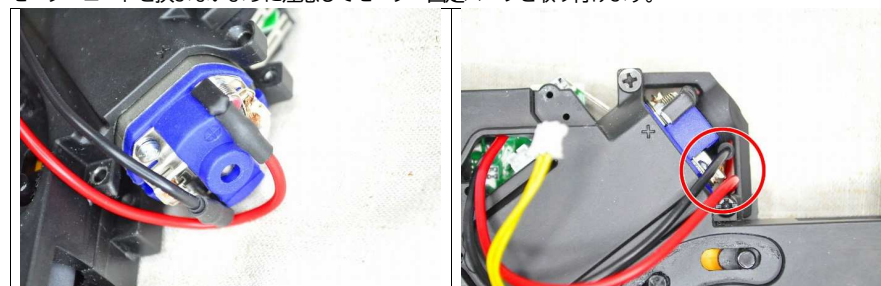
- ① 右画像のようモーターコードを通します。



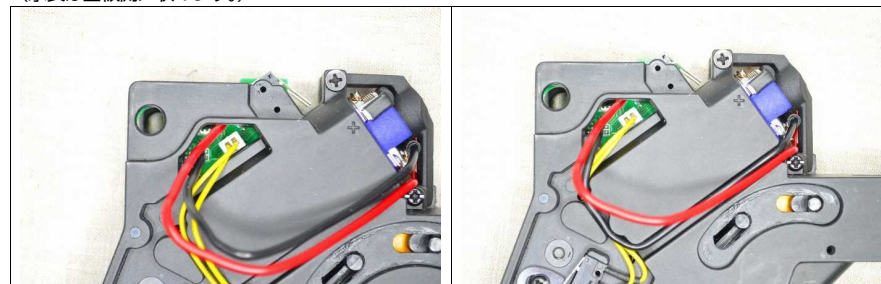
- ② 制御基板がメカボックスと水平になるように確認してネジで固定します。



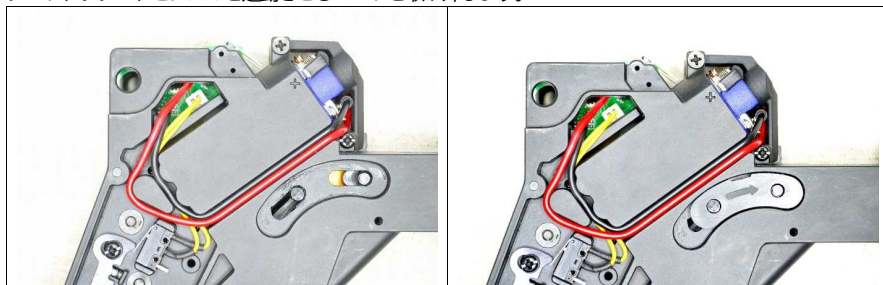
- ③ モーター端子にモーターコードを取り付けます。(プラスとマイナスの極性に注意してください) モーターコードを挟まないように注意してモーター固定パーツを取り付けます。



- ④ カットオフケーブルを取り付けてから、モーターコード黒を指で押し込んでメカボックスに納めます。(余長は基板側に収めます。)



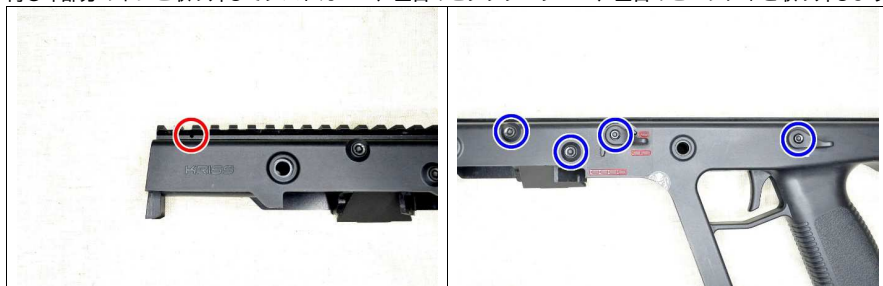
- ⑤ モーターコード赤を指で押し込んでメカボックスに納めます。(余長は基板側に収めます。) タバットプレートとノズルを連動させるパーツを取り外します。



- ⑥ メカボックスをレシーバーに組み戻して、取り外した外装パーツを組み戻して完了です。

■ セーフティスイッチの直結方法

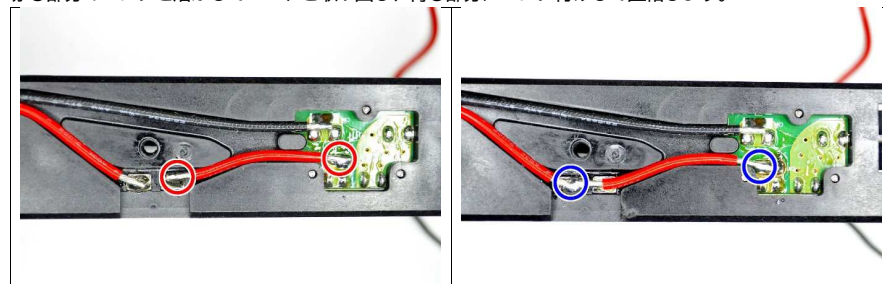
- ① 赤○部分のピンを抜き取ってレールをスライドさせて取り外します。青○印部分のネジと取り外してダストカバー、左右のセレクターレバー、左右のセーフティを取り外します。



- ② 赤○印部分のネジを外し、青矢印部分を前方にスライドさせるとトリガーユニットが取り出せます。



- ③ 赤○部分のハンダを溶かしてコートを取り出し、青○部分にハンダ付けして直結します。



- ④ セーフティ状態でのトリガーのガタを軽減する方法 (若干ショートストロークになります。)

- ②画像の赤矢印部分のピンを抜き取ります。(撮影の関係でトリガースプリングを取り外しています。) 0.3 mmの市販のプラ板を貼ります。※プラ板は別途ご購入ください。



- ③ トリガーをトリガーユニットに戻しピンを差し込んで完了です。 ※プラ板が厚い場合は、プラ板を削って調整してください。